市街化調整区域の下水道整備の基本方針は？

佐藤　弥斗　議員《ざま明進会》

市街化調整区域の下水道整備について、座間市下水道中期ビジョンには平成34年から下水道汚水管の整備を開始することが明記されています。平成33年に事業認可を取り、10年間での整備完了を予定し、総事業費は約18億円を見込んでいるとのことですが、財源確保についての所見を伺います。また、市街化区域の下水道汚水管整備の受益者負担については、都市計画税との二重課税と考えられるとの議論もあり、県内では本市と3町が導入しませんでしたが、市街化調整区域の下水道汚水管整備における受益者負担への考えを伺います。

また、市街化調整区域の合併浄化槽の整備件数についてお示しください。

公営企業管理者　市街化調整区域の下水道汚水管整備の財源は主に起債とし、また、県と交付金について協議しています。市街化調整区域の住民の方にご負担をいただくことは、やむを得ないものと考えていますが、負担額等は既に市街化調整区域の整備事業をしている他市町村の動向を参考にし、具体的な方法を考えていきたいと思います。

上下水道局長　市街化調整区域における合併浄化槽は、平成28年度調査時点で273件です。

芝沢公園の雨水対策として地下の浸透貯留槽設置を

守谷　浩一　議員《日本共産党》

芝沢公園の利用者から「本年3月9日、大雨で芝沢公園内の水路が泥と落ち葉で埋まっていた。鉄砲水が流れたように湿性植物園付近まで一気に大雨が流れたようだ。」との話がありました。そこで、芝沢公園内の排水施設の現状についてお示しください。

芝沢公園の排水施設の一つとして、地下の浸透貯留槽を提案します。これは、掘削して、遮水または透水シートを敷き、貯留材ユニットを組み立て、平板を設置し、上部シートを敷設したら埋め戻して転圧するものです。地上は公園や駐車場として利用できます。掘削量を低減でき、雨水を効率よく貯留することができますが、見解を伺います。

都市部長　排水施設の現状は、北側の排水上流部分は芝張り側溝や暗渠管を配置し、公園中央付近の第2水源ポンプ所から芝沢川までの南側の排水下流部分には園路から外れた位置に深さ80センチメートル、横幅190センチメートルのふたをかけた水路が約380メートル布設されています。近年の豪雨を考慮すると芝沢公園全体の雨水対策を見直すことも必要と考えます。浸透貯留槽の必要性については、芝沢公園再整備計画を策定していく中で研究を進めていきたいと考えています。

共有私道の整備一歩前進！ガイドライン発表が契機に

内藤　幸男　議員《自民党・いさま》

私道の共有者の所在不明は全国的にも問題となっており、法務省は平成30年2月1日、複数人が共有する私道について、全員の同意がなくても補修工事などができるように、必要な同意の範囲についてのガイドラインを公表しました。このガイドラインには、老朽舗装やごみ集積場、下水管など事例別に工事の概要などが記され、ケーススタディーを通じて工事の可否を判断する指針を示しています。今回このようなガイドラインが発表されたことは本市としても契機になると思いますが、このガイドラインをどのように捉えていくのか、また、今後、私道の整備にどのように取り組んでいくのか、方向性をお示しください。

都市部長　ガイドラインには、現在、関係職員が抱える問題の解決を図る事例等が掲載されています。内容をよく研究し、私道整備の要望者の負担が軽減されるもので、座間市私道整備等に関する要綱の要件を緩和できるものがあれば、改定していきたいと考えています。要綱の「私道の所有者及び私道に接する家屋の居住者総意による整備等の要望があること」の条文から「総意」をなくしていくことができるかどうか、ということから考えていきます。

災害廃棄物処理計画 迅速処理可能な平時の備えに重点

竹田　陽介　議員《自民党・いさま》

災害廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により一般廃棄物に区分されることから、基本的に市町村が処理の責任を担います。東日本大震災以降、巨大地震や水害に伴い発生する膨大な量の災害廃棄物を処理・処分することは、被災した自治体にとって大きな課題となっています。

災害廃棄物処理計画の策定は、大規模地震や異常気象による大雨、川の氾濫に伴う水害により発生した大量の廃棄物処理に際し、迅速かつ適正に処理及び再資源化の推進を図るため、また、市民の生活環境を保全し、速やかに復旧・復興を目指す上でも重要です。現在策定中の災害廃棄物処理計画について、どのような考えを持ち策定を目指しているのか、お示しください。

環境経済部長　座間市地域防災計画において、災害廃棄物の処理・処分計画の策定が定められています。また、今年度、県災害廃棄物処理計画に基づき開催された県主催の計画策定セミナーに本市も参加し、他市と情報を共有しながら座間市災害廃棄物処理計画の策定に努めています。策定に当たっては、座間市地域防災計画との整合を図り、発災時には迅速な処理が可能となるよう平時の備えを重点に計画したいと考えています。

避難所運営について問う

加藤　学　議員《公明党》

避難所は、その地域の情報を収集し発信することも重要です。近隣の危険箇所の情報を地図に記入し、提示できるように事前に用意すべきと考えますが、見解を伺います。また、避難所開設担当職員は、防災倉庫の位置、備品の種類や数、機材の取り扱い方を把握しておくべきですが、職員の避難所開設訓練の計画と実施状況を伺います。そして、避難所ごとの備品一覧、配置図を誰でもわかる場所に準備しておくことも必要と考えますが、当局の見解を伺います。

市長室長　地図の事前準備については、市の防災マップなどを活用し、危険箇所等の情報を提供できるよう努めていきます。また、座間市避難所運営マニュアル（標準型）の見直しにあわせて、地図などを活用した情報提供について記載するよう修正していきます。本市では、地域防災と一体化した避難所運営を目指しており、避難所開設訓練は、避難所運営委員会が組織できたところを優先して実施してきました。平成30年度からは、訓練未実施の避難所開設担当者を対象にフォローアップ訓練を行う予定です。避難所ごとの備品一覧、配置図は、各コミュニティセンター管理運営委員会等と調整し、準備を依頼したいと考えています。

議会を傍聴してみませんか

市議会で開催される会議（本会議・委員会）は、傍聴することができます。

本会議の傍聴は、市役所7階の議場入口正面で受け付けしています（各委員会の傍聴は、6階の議会事務局にお申し出ください）。

受付で住所・氏名のご記入をお願いします。

●平成30年第4回定例会の開催予定●

11月22日（木）議会運営委員会
29日（木）本会議（開会・提案説明・総括質疑）
予算決算常任委員会（本会議終了後）
12月6日（木）本会議（一般質問）
7日（金）本会議（一般質問）
10日（月）本会議（一般質問）
11日（火）予算決算常任委員会企画総務分科会・企画総務常任委員会
12日（水）予算決算常任委員会民生教育分科会・民生教育常任委員会
13日（木）予算決算常任委員会都市環境分科会・都市環境常任委員会
17日（月）予算決算常任委員会
基地政策特別委員会（午後1時～）
19日（水）議会運営委員会
21日（金）本会議（討論・採決・閉会）
※会議は、午前9時に開会する予定です。

※　請願・陳情はいつでも受け付けています。提出された請願・陳情は3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会において審査されます。

なお、定例会ごとの締め切り日は、議会事務局にお問い合わせください。

☎046（252）8872

議会報告会は中止しました

8月8日（水）にサニープレイス座間で予定していた議会報告会は、台風接近の影響により中止しました。